

ODIP 4.4 修正パッチ (P1040408006188) リリースノート

2025/2/20

(株) インテリジェント・モデル

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容	4
1. SQL Server の異なるデータベース間でテーブル結合する機能の追加	4
B. パッチ適用による影響	4
C. パッチの適用方法.....	4
1. ライブラリファイルの更新.....	4
2. パッチ適用後の確認.....	5

A. 変更内容

1. SQL Server の異なるデータベース間でテーブル結合する機能の追加

複数の入力データ (テーブル) を同じ JoinGroup の中で結合する際、異なるデータベース間のテーブル結合は出来ませんが、SQL Server の同一インスタンス内 (ホスト、ポート番号が同じ) の場合のみ、異なるデータベース間でテーブル結合が出来るように改定しました。本機能は結合対象のデータベースの照合順序が同じであることが前提であり、異なる場合はエラーになる場合があります。

B. パッチ適用による影響

既存の定義への影響はありません。

C. パッチの適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ODIP アドミニストレータ v4.4
- ODIP オペレーションマネージャ v4.4
- ODIP リポジトリマネージャ v4.4
- ODIP プロセスマネージャ v4.4
- ODIP リポジトリサーバ v4.4
- ODIP トランスフォーマ v4.4

1. ライブラリファイルの更新

実行中の ODIP 製品を終了し、ODIP_P1040408006188 フォルダに格納されているライブラリファイルを、表 1 のファイルのコピー先に上書きコピーしてください。

表 1 ODIP_P1040408006188 のフォルダ構成及びファイルのコピー先

ODIP_P1040408006188	ファイルのコピー先
lib	

	ADM	ODIP アドミニストレータの lib フォルダ
	OPE	ODIP オペレーションマネージャの lib フォルダ
	RPM	ODIP リポジトリマネージャの lib フォルダ
	RPS	ODIP リポジトリサーバの lib フォルダ
	TFM	ODIP トランスフォーマの lib フォルダ

2. パッチ適用後の確認

パッチ適用後は、各製品を起動し、表 2 の確認方法に従って確認を行ってください。

表 2 パッチ適用後の確認方法

製品名	確認方法
ODIP アドミニストレータ	ヘルプメニューから“ODIP について”を選択し、表示されたすべてのビルド ID が 1040408006188 であることを確認してください。
ODIP オペレーションマネージャ	
ODIP リポジトリマネージャ	
ODIP プロセスマネージャ	
ODIP リポジトリサーバ	ODIP リポジトリマネージャのツールメニューから“ORMS サーバ情報”を選択し、“バージョン情報”タブを開き、表示されたすべてのビルド ID が 1040408006188 であることを確認してください。
ODIP トランスフォーマ	ODIP トランスフォーマを起動し、showserver コマンドを、オプションに“-info version”を指定して実行してください。表示されたすべてのビルド ID が 1040408006188 であることを確認してください。

以 上